

----- (前回からの続き) -----

チアキは自分のパソコン経験と照らし合わせて、一生懸命に話を理解しようと黙ってDOS画面を見つめていた。

タイチ「ちょっと話が面白くなかったかな？」

チアキ「...。えっ、あ、いえ、そんなことはないです」

タイチはやっぱりつまらないだろうなあと思いながらとりあえず話を続けた。

タイチ「そう？この辺りは聞いててもつまらないところなんだよね。でも、
本当は深い意味があって、先人の技術者たちが懸命に考えて決めて
いったことなんだよね。チアキちゃんて、UNIXってOS知ってる？」

チアキ「ウェブサイトはほとんどがUNIXだと聞いていますけど...」

タイチ「そうか。ウェブサーバの管理ってタッチしてないもんね」

チアキ「ファイルをサイトに転送する人の作業を一度、肩越しに見ていたん
ですけど、文字ばっかりの画面なのであんまり覚えられなくて...」

ウェブデザイナーって、レイアウトや色にはコダワルけど、どうしてそういう
仕組みになるのかって、あまり興味を持たないことが多い。でも、チアキ
ちゃん言葉には何か知識欲みたいなものを感じるタイチだった。

タイチ「なるほどね。つまんないかも知れないけど、ファイル名の話のついで
だから言うと、UNIXなんてファイル自体にそんな情報はないんだ。
ファイル名とタイムスタンプ、そしてファイルの保存先が示されて
いる程度なんだよね。だから、作った本人か、マニュアルしかファ
イルがどのような種類かわからないんだ」

チアキ「そういえば、ウェブサイト全体を管理する人からファイルの種類ご
とにフォルダを分けてくださいと言われることがあるんですけど、
それが理由ですか？」

タイチ「それは、主にファイル管理上の都合だと思うよ。でもファイルだけ
を渡されても、どんなファイルかわからないので、そうやってフォ
ルダ毎に分けたいと思うことは多いよね」

午前中、サーバ側のプログラムとの接続打ち合わせで、タイチはウェブデザ
イン部に來ていた。打ち合わせから戻る途中でチアキの席でDOSを説明して
いたのだが、気付くと回りのみんなは食事に行ってしまうて、ガランとして
いた。

次は？という目でチアキが見ているのに気付いたタイチは話を進めた。

タイチ「さてと。かなり脱線したから、話を戻そうか。Windowsでは拡張子

が大切だってことまではわかった？」

いきなり話を振られて、今までタイチにお任せモードだったチアキはちょっとびっくりしたが、Windowsではファイル名に拡張子が付いていること、拡張子が大切だということを、すぐに思い出した。

チアキ「えっと、拡張子を参考にして、どんなファイルかパソコンが判断するんだったよね」

タイチ「そう。拡張子とファイルの種類には対応関係があるんだ。ちょっといいかな？」

タイチはチアキの手帳に追加して、何か書こうとした。

チアキ「あっ、こっちにしてください」

こっちに書いてください！とばかりに、チアキはバッグからノートを取り出してページを開いた。やっぱり手帳に書かれるのは嫌だったのかなと思いつつ、タイチはちょっと時間をかけて次のようなメモを書いた。

拡張子	ファイルの種類
txt	テキストファイル
exe	実行ファイル
doc	ワードのファイル
xls	エクセルのファイル
gif	グラフィックファイル
lzh	圧縮ファイル
mp3	音楽ファイル
ico	アイコンファイル
dll	システムファイル
pdf	PDFファイル

(まだまだ、とっってもたくさんの拡張子がある)

チアキ「へえ～。拡張子って、きちんと決められているんですね！」

タイチ「そうそう。ところで、どの拡張子がどのファイルの種類と対応するのかって、何か法則がありそうでしょ？」

チアキ「何かあるんですか。数式とか何か？」

さあ、手帳にメモするぞという感じで、チアキが身構えているが、タイチの答えはまたまた予想外だった。

タイチ「これがなくて、勝手に決めているんだ」

チアキ「ええっ！勝手に？じゃ、同じ拡張子の場合もあるんですか？」

タイチ「昔はあったね、実際に。拡張子が"doc"なんて、前はテキスト文字のファイル拡張子として付けていたんだけど、Microsoftがワーブ

ロソフトのワード(Word)を発売してから、"doc"と言えばワードのファイルになってしまったんだ」

チアキ「じゃ、昔の人が作ったテキストファイルなのに拡張子が"doc"のものってどうなるんです？」

タイチ「パソコンはわからないからワードのファイルだと思って、ファイルを開いてしまうよね。そこまでは考えていないんだ」

コンピュータの世界って、意外にいい加減に決まるんだなあ。前もDOSの名称がWindowsのバージョン毎にバラバラなのに驚いたチアキだったが、今度も同じだと思った。

チアキ「どこかの偉い会社がきちっと決めているんだと思いましたけど...」

タイチ「MacintoshのApple社は一元的に決めてたけど、DOSから進化したWindowsの世界では過去のソフト(ファイル)資産とがごっちゃになってしまったんだよね。管理してなかったから当然の結果だけだ」

チアキにはタイチが自分にわかるように表面上の知識だけを話していることがわかっていて。何だか、パソコンの長い歴史があって今のパソコンのいろいろなことが決まっているんだ...。まるで、インディージョーンズじゃない！推理ものや謎解きが好きなチアキはちょっとうれしくなっていた。

チアキ「ファイル名のことについては詳しく聞いたんですけど、WindowsとDOSではファイルの見え方って違うんですか？」

タイチ「一番最初の質問だよね。答えとしては、ある形式のファイル名だったら同じように見える。それ以外だと同じファイル名にならない」

チアキ「答えになっていないような...まるで禅問答みたいですね。そのある形式ってどんな感じなんですか？」

タイチ「8.3形式というもので、ファイル名本体が半角で8文字以下で、拡張子が半角で3文字のファイルのことをいうんだ。この形式だったら、Windowsで付けたファイル名もDOSで付けたファイル名も共にそのまま同じになるんだ」

まったくもう。8.3形式なんていうもんだから難しいのかと思ったら、単に8文字と3文字なだけじゃない。コンピュータ用語って本当に難しいのもあるけど、実は簡単なのに難しそうな名前をつけてあるものも多くて困るのよねとチアキは思った。

チアキ「ふーん。でも、Windowsとかで長いファイル名を付けることってありますよね。そういう場合はDOSではどう見えるんですか？」

タイチ「その場合は、ある法則に基づいて8.3形式に無理やり変換されるよ」

チアキ「えっ、どんなふうになんですか？」

タイチ「残念ながら忘れたなあ。Windowsの仕様だと思えばいいんじゃない。単純な変換法則だよ、実際。例えば、"電気に関する知識.pdf"とWindowsでファイル名にしたとするよね。すると、同じファイルを

DOSから見ると"電気に~1.PDF"になるんだ」

タイチ先輩でも忘れることってあるんだ。というより、もしかしたら先輩のことだから覚えておいても価値がないと思っているのかも。ちょっと先輩の思考パターンがわかってきたぞ...とチアキは思った。

チアキ「てっきり、DOSとWindowsの世界って、分かれているんだと...」
タイチ「そう感じてたのか...。僕の説明があまり良くなかったかもしれないね。DOSとWindowsってユーザと対話する窓口みたいなもので、ファイルとかプログラムとかは同じものを示していることが多いよね。こんな感じかな」

こちらにどうぞという感じでチアキが誘導したノートの1ページに、タイチはさらさらっとメモ書きした。

DOSの世界	Windowsの世界
=====	=====
電気に~1.PDF	----> ファイル <---- 電気に関する知識.pdf
	(同じもの)

チアキ「ふ~ん。なるほど...」

また考え込んでいるチアキを横目に、タイチが時計に目を落とすと、もうお昼時間が終わり掛けている。

タイチ「そろそろ、チアキちゃんもお昼ご飯を食べないと...。まあ、この辺りは実際にDOSを操作してみたほうが絶対にわかりやすいよ。今日は忙しいから明日の午後の合同ミーティング以降に説明できる時間が取れるけどどうする？」

チアキ「はい。また教えてください。復習しておきますから」

仕事の一つ増えた。

----- (つづく) -----